

# 南島原市のIoT事業化 の取り組みについて

平成 30年 5月

南島原市IoT推進コンソーシアム事務局

(南島原市商工観光課)

## (1) 長崎県島原半島の位置と概要

南島原市を含む長崎県の島原半島地域は、長崎県の南東部に位置し、**南島原市**、島原市、雲仙市にわたる地域で、有明海を挟み、熊本県と隣接しています。また、日本最初の国立公園である雲仙天草国立公園に指定されており、山地に連なる緩やかな丘陵地や海岸沿いに広がる平野部は、温暖な気候にも恵まれ、県内有数の農業地帯を形成しています。

### 島原半島通勤圏内人口

候補物件から車で通勤時間 約50分内

(平成29年4月)

|             | 男              | 女              | 合計             |
|-------------|----------------|----------------|----------------|
| <b>南島原市</b> | <b>22,184人</b> | <b>25,284人</b> | <b>47,468人</b> |
| 島原市         | 21,449人        | 24,625人        | 46,074人        |
| 雲仙市         | 20,378人        | 22,782人        | 43,160人        |
| 合計          | 64,011人        | 72,691人        | 136,702人       |





## (2) IoTの事業化により求めているもの

---

人口が集中していない地方においては、ソリューションを生み出す企業や研究機関等がないため、解決されていない課題が多い状況にあり、さらに、製造現場やサービス現場において労働力不足といった近年の社会問題にも直面しています。

地方で必要とされているサービスは地方で創発することが重要だと考えていますが、関連企業の立地や基盤が整っておらず、都市部で開発するスキームのようにはいかないため、企業地域の実情を把握している自治体との連携により創発することがより効果的です。また、全国や海外へ展開できるビジネスチャンスとも捉えています。



南島場市を実証フィールドとした企業間連携による地域解決型のIoT事業を生み出す取り組みを実施することにより、関連する企業の研究所や開発拠点の誘致や創業を図る。併せて技術者等の移住や育成を図り、地域での雇用の分野拡大や所得額向上により、地域経済の好循環を図ることが狙い。

### (3) 今後の活動計画

- (1) IoT関連セミナーの開催
- (2) 異業種交流を兼ねた「島原ITもくもく会」を定期的に行い、随時研究を行う
- (3) IoT事業化や技術者交流のため、アイデアソン、ハッカソンなどのIT合宿を行う

平成30年度の開催予定

場所：エコパーク論所原（南島原市北有馬町）

- ・アイデアソン 9月7日（金）から2泊3日
- ・ハッカソン 10月12日（金）から2泊3日

- (4) IoT事業化に向けた共同での研究・実証・実装などを行う
- (5) 新しい分野への試験導入
- (6) イベント出展等によるPR活動
- (7) 人材育成のためのプログラミング講座などの実施

上記の活動と連動して、下記支援を実施します。

- ・市内での創業を支援（創業支援制度）
- ・市内への企業の拠点化を支援（サテライトフィス支援制度）
- ・市内の学校跡をリノベーションしてオフィス系企業向けの入居物件として利活用



昨年のハッカソンの様子



オフィスとして計画している旧長野小学校

## (4) ご参考：平成29年度 南島原市アイデアソン・ハッカソン

### 南島原ローカルITサービス創発塾

- アイデアソン 平成29年10月下旬の2泊3日
- ハッカソン 平成29年12月上旬の2泊3日
- 参加者数 18名、チーム数 4チーム



### ハッカソン成果サービスの一例（しいたけ工場）

①課題と要望 通常のスーパーマーケットにあるしいたけは、物流の関係で鮮度が落ちている商品が多いので、新鮮でおいしいしいたけを皆様に広く知ってほしい。また、しいたけは生き物なので、夜間等でも工場を確認できるようにしたい。

### ②解決サービス

しいたけ工場にIoTセンサーを設置し、得られた情報や画像データを生産管理に活かす。さらにEコマースでしいたけ栽培キットを販売するようリリースした。

今後は、サービスの内容や業種を順次拡大していく予定。





## (5) 市内でのIoT利活用事例（農業）

東京都新宿区に本社がある、株式会社セラク（東証一部上場：南島原市IoT推進ラボ構成企業）により、小学校跡地に「南島原農業IT研究所」が設置（平成29年6月末）され、独自の農業向けソリューションである「みどりクラウド」を活用し、イチゴやトマト農家を中心として、地域の農業生産者との連携により、生産性効率の実証などが随時展開されている。

また、住宅地から離れた農場については、インターネット通信や電源の確保が課題となっていることから、NTTドコモなどと連携し、次世代通信であるLPWAの実証等も行われている。



セラクが入居している旧山口小学校



オフィス



みどりクラウドやLPWAの実証協力者である  
イチゴ農家の栗原雄一郎さん

みどりクラウドは手軽なコストで導入できるのが特徴です。

データの利活用はこれからですが、圃場の状況をリアルタイムにスマホで確認できるので、効率化につながっています。



## 最後に

コンソーシアムの皆さんと一緒に、南島原市を実証フィールドとしたIoTサービスの研究や実証、事業化等を推進しつつ、日本におかれている課題をローカル発祥のサービスにより解決し、併せて新産業を育成することにより、地方創生を実現しましょう！

アイデアソンやハッカソン、各種セミナーなど、南島原市IoT推進の活動については、南島原市webページで随時情報を公開しています。

検索ワードは「南島原市IoT推進ラボ」

# 【参考】南島原市IoT推進ラボ 実施体制

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 目的 IoTサービスのプロジェクト創出やIoT関連企業の市内への立地又は創業を推進することにより、新産業の雇用創出を図り、併せて市内への移住・定住を図る。
- 概要 地域でのアイデア創出からIoT事業化まで、実証協力者の協力を得ながら技術者の招致やLPWA等の活用など、実証フィールドでの低コストなIoTサービスを創出する。

### 重要業績評価指標 (KPI)

- 平成32年度までに3件以上のIoTサービスのプロジェクトを創出
- 平成32年度までに2件以上のIoT関連企業の誘致または創業

### 今後の展開

- IoT関連企業のラボ拠点が集積することによって、将来的には都市部の企業に発注せずとも、市内企業で一貫したIoTサービスが創出・事業継続できるよう、ラボ拠点化を目指したい。

### 事務局

- 南島原市

### 参加プレイヤー

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| ● 株式会社クラスタス            | ● 島原ITもくもく会            |
| ● 株式会社コクリエシステムズ        | ● 特定非営利活動法人日本Androidの会 |
| ● 株式会社セラク (南島原農業IT研究所) | ● 一般社団法人ブロードバンド推進協議会   |
| ● 株式会社NTTドコモ           |                        |
| ● 株式会社ハタプロ             |                        |

## 事業イメージ

